

## 胸腺腫内のT細胞の解析

### 助教・古谷竜男からのメッセージ

胸腺腫はまだ未知の疾患ですが、少しでも病態解明に寄与できるように頑張りたいです。



### キーワード

胸腺腫、T細胞、PD-1

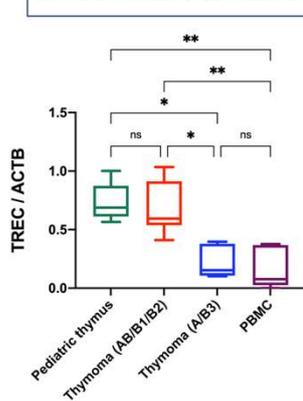
### 研究の概要

胸腺腫内のT細胞の解析を行い、末梢血から腫瘍内に入ってきた腫瘍浸潤リンパ球と腫瘍内で成熟したT細胞のどちらが多いのかを組織型別に解析しました。

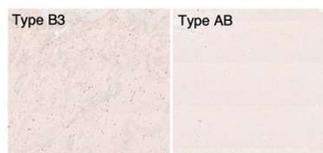
### 研究内容

抗PD-1抗体はPD-1を発現した腫瘍浸潤T細胞を主な標的とします。我々はAB、B1、B2型胸腺腫が正常胸腺のように成熟段階のT細胞を豊富に含んでいることと、これらの組織型ではPD-1を発現するCD8 T細胞の大半が腫瘍内分化T細胞であり、腫瘍浸潤T細胞はわずかであることを報告しました。

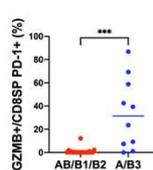
CD8 T細胞におけるTRECのタイプ別による検出量の違い



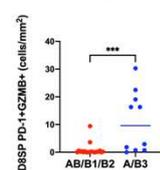
GZMB (エフェクターCD8 T細胞に発現)



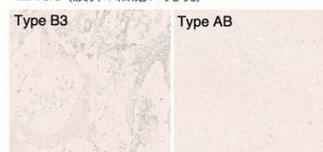
細胞割合



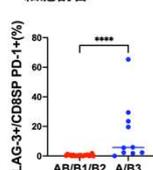
細胞密度



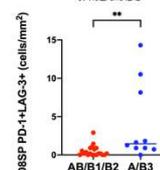
LAG3 (疲弊T細胞に発現)



細胞割合



細胞密度



PD-1+ CD8 T細胞におけるGranzyme B, LAG-3を発現する細胞割合および細胞密度はAB/B1/B2型で有意に低値。

### 今後の展望

胸腺腫の培養モデルの確立を行い、免疫療法を含めた薬剤感受性を調べることにより、胸腺腫に対する新たな薬物治療の確立を目指します。